

「わが図書館ならではの本！！」

～始良伊佐支部 始良市立中央図書館～

始良市には、むかしばなしおはなし採集グループ「うんべの会」という、女性４人のボランティアグループがあり、始良市に伝わる昔話を採集して、鹿児島弁を生かした手作りのオリジナル大型紙芝居をつくってきました。

今回ご紹介する「松原塩田」は、始良市の松原地域に塩づくりの塩田があったという話にもとづき、歴史民俗資料館の「松原塩田コーナー」を訪れたり、地域の方々から聞き取ったお話を交えたりして、２年半がかりで完成したものです。

松原塩田で、日々の重労働の辛さや自然の猛威とたたかいながら、たくましく生き抜いた人々の生活そのものを伝えたいという思いがこもった作品で、さらに多くの方々や子どもたちにも知ってほしいと思い、絵本の発行も行いました。

読み仮名については、地の文であっても鹿児島弁を生かした表記になっています。

「うんべの会」は、１９９７（平成９）年からこれまでに８作品を制作され、「灰太郎」「白銀坂」「ゆきえ」「木津志の里」「重富村の半助さん」「あいらの年迎え」「平山六郎強力の事」と手作り紙芝居舞台とともに寄贈していただきました。



- 書名「松原塩田」
- 著作 うんべの会
- 編集発行 小原 健
- 紙芝居制作 2006年8月4日
- 絵本発行 2017年6月10日